

平成16年第4回(9月)定例会 一般質問通告表

	質問事項	答弁	質問者
1	<p>1 市総合計画の策定について</p> <p>(1) 計画の構成と期間について 基本構想と基本計画の期間は 過疎地域自立促進計画と新市建設計画との関連について</p> <p>(2) 総合計画審議会委員の委嘱と設置をどのように考えているか 委員数は50人以内とあるが 地域審議会委員とのかかわりについて</p> <p>(3) 計画策定に民の知恵について 市民の声・要望を施策にどのように反映するか</p> <p>(4) 答申と議会提案について 答申と議案の議会提案はいつ頃か</p> <p>2 日本一安全安心の島づくりについて</p> <p>(1) 小・中学校の防犯・防災について 防災体制は万全か 命の尊さと体験学習等の取組みについて 旧市町村の青少年健全育成町民会議、青少年問題協議会等の 今後のあり方について 学校、家庭、地域の連携について 防犯ブザー携帯状況と今後の取組みについて</p>	<p>市長 関係課長</p> <p>市長 関係課長</p>	池田 寅一
2	<p>1 外部監査制度導入の意思 佐渡市の組織に属さない外部監査制度を導入することは、行財政 の基盤を確立する上で有益と考えるが市長はこれを導入する気持 ちはあるか また、外部監査制度導入についての代表監査委員の見解を 求める</p> <p>2 海洋深層水の利活用による地場産業の振興策への取組み</p> <p>(1) 地場産業の振興策及び計画時の利活用の需要予測数値等の目 論見を示されたい。</p> <p>(2) 16年度の目標と達成見込み</p> <p>(3) 先に某企業との進出協定調印が行われたが、進出企業の目論 見概要</p> <p>(4) 今後の営業活動等の取組み方針</p> <p>3 学校建設に当たっての基本的概念をどう考えるか</p> <p>(1) 基本設計のコンセプトを教育委員で話し合われたことがあるか</p> <p>(2) 校舎の意匠はその地域地域の文化特性を加味する必要がある と考えるが</p> <p>(3) 自然エネルギー発電の中でも、太陽光発電を取り入れるべき と考えるが</p> <p>(4) 佐渡産木材を使った木質系の校舎は、温かみもあり、林業振興 にも寄与する。是非とも取り入れる必要がある</p> <p>4 佐渡国分寺史跡の本調査 佐渡国分寺史跡の計画とスケジュールを示されたい。</p>	<p>市長 監査委員</p> <p>市長</p> <p>教育委員長</p> <p>教育長</p>	白杵 克身

	質問事項	答弁	質問者
3	<p>1 台風15号及び16号被害に対する市の対策を問う</p> <p>(1) 農作物の被害状況 9月1日現在予想される被害面積、被害金額について</p> <p>(2) 被災農家に対する市の対応について 市税の減免処置及び納税猶予について 制度資金・営農資金の対応について 被害の記録の保存について、CNSの役割 来年度の種々の確保は万全か 加工米の取扱いについて 減反政策の次年度以降の緩和処置について</p>	市長 関係課長	渡部 幹雄
4	<p>1 農業の振興策について</p> <p>(1) 今後農業の振興をどのように進めていくのか</p> <p>(2) 後継者の育成への取組みについて(イターンも含む)</p> <p>(3) 海上運賃の軽減策は考えられないか</p> <p>(4) 地産地消、6次産業化へ向けて生産と消費の連携をどうとるか</p> <p>2 林業の振興について</p> <p>(1) 今後佐渡の林業の振興策を聞きたい</p> <p>(2) 公共施設建設の際、地元産材の活用は考えられないか</p> <p>3 情報化施策のあり方について</p> <p>(1) 佐渡市全域において同じ情報サービスが受けられるシステムが 必要と思うがいかがか</p> <p>(2) 佐渡は長い海岸線や急傾斜地など災害における危険地帯が多い 防災情報システムをどう構築していくのか聞きたい</p> <p>(3) 一人暮らし老人のみ世帯が増加する中、保健師とコミュニケー ションを図りながら遠隔支援を受けられる「在宅健康管理支援シ ステム」の実現を望むが、市長の考えを伺いたい</p>	<p>市長 農林水産 課長</p> <p>農林水産 課長</p> <p>企画情報 課長</p>	若林 直樹
5	<p>1 国道である佐渡航路について</p> <p>(1) 佐渡汽船の運行ダイヤの見直しについて 8月16日に市長と議長が、増便の決議をもって要望した事 に対し、8月21日付けで17年度の運行ダイヤの復活は無いとの回 答があった。このことについて現在の佐渡汽船(株)の経営状態 から判断するに今後更なる減便の可能性も否定できないと思 うが、市長はどのように考えているか。尚今後どのように対応 していくのか伺いたい</p> <p>(2) 生活航路の「指定区間」について 国の規制緩和の中で海上運送法の一部改正により海上運送業 者への新規参入が自由化されたとき、佐渡汽船(株)から生活航 路の「指定区間」すなわち佐渡航路に他の海運会社の参入を防止 するための陳情を受け、これを市町村長が推薦した事をどのよ うに考えるか</p> <p>(3) 北陸信越運輸局長の私的懇談会について 生活航路の「指定区間」を受けて3年も経たない内に経営が</p>	市長 関係課長	浜田 正敏

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
5	<p>苦しいから減便をしたいとの申請がなされ、これにより平成15年2月から5月まで4回にわたり「佐渡航路サービス基準の見直しに関する懇談会」が開催された。佐渡からも航路のある両津市長、赤泊村長、小木町長が出席され、減便という結果になったが、その内容を承知しているか</p> <p>2 消防行政</p> <p>(1) 本署の建設について</p> <p>16年度予算に計上されている消防の本署の位置であるが、旧国仲5か町村の一部事務組合で計画された本署の位置の地盤が悪いなど言われているが、それ以前の問題として両津、相川、南佐渡の、3消防署の位置から考えて、現在計画されている本署の位置が適正であると考えているか</p>	市長 関係課長	浜田正敏
6	<p>1 向こう5年間の財政計画に見られる諸問題について</p> <p>(1) 合併が生んだ行政の根幹にふれる重大な欠陥について</p> <p>支所長の条例上の身分と行政の二重構造について</p> <p>(2) 合併時の国・県の約束に対する市の姿勢について</p> <p>合併優遇措置7項目と今日の状況に見られる問題点について</p> <p>(3) 16年度予算執行上に見られる諸問題について</p> <p>市民生活の面から見た納得できない措置について(税金と保育料に見られる若干の問題点について)</p> <p>合併特例債事業に係る問題点について</p> <p>4 「情報化推進ネットワーク整備事業」の見直しの必要性について</p> <p>5 消防施設の位置等の再検討について(7も含めて)</p> <p>9 防災行政無線整備事業の基本計画の見直しについて</p> <p>23 痴呆性グループホーム建設計画の具体的な計画について</p> <p>24 佐渡インフォメーションセンターについて、発展的検討を要しないか</p> <p>25 小中学校の改築等について特にへき地校については、交通機関の検討を含めて検討すべきではないか</p> <p>27 給食センター4か所については検討を要す</p> <p>30 公立図書館10か所の計画は全面的に検討を要す</p> <p>33 市役所の建設は、当分見送り、佐和田支所を本庁分館とするか、旧佐渡女子高校舎を本庁として、一気に支所の統合を進めるか検討すべきである</p> <p>34 市役所の計画を決定すれば、現在の支所の整備である34と30は同時に解決できる。</p> <p>35 行政情報システム構築事業は、「衛星通信システム」を導入するかしないかで、財政計画に大きな変更をもたらすもので、当面予算執行の凍結を含めて再検討を要す</p> <p>35の設計入札の業者指名に見られる若干の疑問について</p> <p>35の事業執行に当たり、地方分権時代の調査・研究の認識</p>	市長 教育長	加賀博昭

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
6	<p>を欠いた職員の行政姿勢に反省を求める</p> <p>バイオガス熱電利用調査と廃棄物処理計画の再検討について(6月議会の南部地区処理の再考の提案にその後の情報を加えて再提案をする)</p> <p>佐和田地内に設置が進められている「産業廃棄物処理施設」と行政の対応について</p> <p>佐渡消防本部のH10年5月29日付佐消証第010号と、H14年4月17日付佐消証第0002号の証明文書について</p> <p>(4) 台風15・16号災害と行政の対応について</p> <p>災害の被災者に対する行政ができる措置について</p>		加賀博昭
7	<p>1 情報通信網の整備について</p> <p>(1) 衛星通信システムの採用を検討すべきである</p> <p>2 佐渡空港問題について</p> <p>(1) プロペラ機の就航を検討すべきでないか</p> <p>3 佐渡市のシンボルの決定について</p> <p>(1) 市の花、木、鳥、魚等を早く決めるべきである</p>	市長 関係課長	渡邊庚二
8	<p>1 災害対策について</p> <p>(1) 台風15・16号災害について</p> <p>農林水産など台風災害のつめ跡は深刻である。被害者への主な支援策についての見解を伺う</p> <p>2 高齢者福祉について</p> <p>(1) 介護保険について</p> <p>来春に見直しされる介護保険についての現状と取り扱いについての見解を伺う</p> <p>(2) 要介護認定者の障害者控除について</p> <p>要介護認定者のいる家庭は、所得税申告の際、障害者控除が受けられるが、現状と取り扱いについての見解を伺う</p> <p>3 少子対策子育て支援</p> <p>(1) 子どもを安心して産み育てられる環境づくり(経済支援を含む)「新市建設計画」</p> <p>子どもの医療費は小学校入学前まで通院も入院も無料にする</p> <p>第2子・第3子の保育料減額・免除にする</p> <p>学童保育は、少なくともすべての中学校区で実施する</p> <p>子どもが安心して登下校できる街灯・歩道の整備をする</p> <p>相川で実施している奨学金制度を他地域にも広める</p> <p>以上についての見解を伺う</p> <p>4 防災計画について</p> <p>(1) 防災計画の作成について</p> <p>旧市町村では、いざというときに備えて防災計画をつくって対応してきた。佐渡市はいつ作成するのか</p> <p>佐渡市内は面積的にも広く、地形も多様である。住民ぐるみで作成する必要があるかどうか</p>	市長 関係課長  市長 関係課長  市長 関係課長	中村良夫

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
8	旧真野町の友好都市である国分寺では、住民ぐるみで防災計画を作成している。しかも防災計画だけでなく、マニュアルも作成しているが、そこまでやる必要があるのではないか		中村良夫
9	1 佐渡市の活性化対策について (1) 企業誘致について 企業誘致、新しい産業の育成について高度情報化時代に対するIT関連の企業誘致はできないか。市長の考え方を伺う (2) 観光産業と地場産業の連携 観光産業と地場産業の連携で自然や文化に触れ交流し、滞在型の観光としての取り組みが必要である。観光農園やトレッキングコース等の整備が必要である。市長の考え方を伺う (3) 大学の誘致 大学・専門学校の誘致について	市長	大場慶親
	2 環境整備について (1) 環境基本条例について 佐渡の自然環境の破壊や汚染等が急速に進んでいると言われるが、市長は具体的にどのように把握されているか 環境基本条例の制定の具体的な作業に入っているか、どの程度進捗しているか伺う	市長 教育長 市長	
	3 森林の再整備について (1) 佐渡産の木材の活用の拡大について 地域林業の活性化を図るため佐渡産杉材を使った建築に対して補助金を交付してはどうか伺う (2) 広葉樹林の活用について 木材ペレットにより広葉樹林を活用すべきである。地域のエネルギーを自然から確保するとともに、広葉樹林の再生になると思いますが、市長の考えを伺う (3) 竹林の整備と活用について 竹炭を生産して、これを土壌改良剤としての活用はどうか、または竹を暗渠排水の材料としてはどうか伺う	市長 関係課長	
	4 佐渡市役所に金井担当窓口の設置について (1) 本庁舎に金井支所機能の窓口設置を望む	市長 関係課長	
10	1 総合福祉会館建設計画について (1) 委託設計業務の進捗状況について 委託先 委託内容 厚生委員会の意見は反映されているか 計画見直しの考えはあるか	市長 関係課長	田中文夫
	2 社会福祉費委託料の見直しについて (1) 介護保険給付対象事業について 社協委託分の見直しの要否 民間事業者の経営は成り立っているか	市長 関係課長	

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
10	3 市営老人福祉施設の運営について (1) 委託ないしは民営化の可否について 各施設の直営であることの意義 社協あるいは各福祉法人への委託に問題があるか 新規に社会福祉法人を立ち上げての民営化は可能か	市長 関係課長	田中文夫
	4 観光事業への積極的な取り組みについて (1) 基礎的なデータの収集・整理・分析について 来島者のデータ収集はどうしているか 佐渡出身者の把握がされているか 佐渡出身者の帰省・滞在の阻害要因は何か	市長 関係課長	
11	5 本庁舎増設について (1) 本庁機能の強化と議会、教育委員会の集結のために 新庁舎建設の可否について 増設の是非について 金井支所機能の改善も必要	市長 関係課長	猪股文彦
	1 政治姿勢について (1) 市政運営の基本姿勢について 市長は顔を市民に向けるのか、職員に向けるのか 市長の決断の重みについて 議会の「意見」への対応について 情報に対する認識と格差是正について	市長 関係課長	
12	2 行財政改革と新市建設計画について (1) 行財政改革について 職員の給与体系と退職金について 佐渡市の将来計画策定と総合開発計画策定について 祝日及び夜間の職員の配置について 職員の配置について 佐渡市の組織体系について 第三者の専門家における審議会の必要性について	市長 関係課長	松本展国
	(2) 新市建設計画について 地域審議会への諮問の在り方について 法定協で策定した「新市建設計画」の妥当性について 将来の財政見通しと「新市建設計画」の進め方について 市庁舎の建築について 支所機能の在り方について	市長	
12	1 市長の政治姿勢について (1) 合併に伴う不安について 今回の合併を成功させるためには下記の問題点を解決することが重要と思われる。市長の見解を問う 合併により周辺地域がさびれたり、過疎地はより過疎化が進まないか。また旧市町村のもつ歴史や伝統、文化といった特徴が失われないか。地域融合と地域参加を図るため、旧市町村担	市長	

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
12	<p>当の「特別副市長」制を導入したらどうか。この任に各支所長にあたってもらったかどうか</p> <p>合併による行政区域の拡大により、住民の意見が行政に反映されなくなったり、少数意見が切り捨てられたりしないか。地域審議会とは別に、定期的に地域懇話会を開催して住民の意見を施策に反映する努力をしてみたらどうか</p> <p>合併により本当に行財政の効率化が進むかどうか。「水ぶくれ合併」に終わらせないためにも市長に強い改革意思と改革シナリオはあるか</p> <p>(2) 職員機構改革について</p> <p>地方分権の名のもと、政府は自治体の自立を強く促している。これからは時代の要請に応えるだけの政策能力が自治体に備わっていないなければならない。この点行政実務を担当する職員の能力が大きな鍵になると思う。下記の質問について市長の見解を問う。</p> <p>すでに働いている職員について能力や業績、職責などを適正に反映した人事制度になっているか</p> <p>県内の大学・民間企業・知識人などに職員を加えて定期的に勉強会を開催したらどうか</p> <p>課長昇任と係長昇任については、選抜試験を行ったかどうか、またこれを社会にもオープンにして民間や他団体で働いている人にも一定の基準を満たしている人は応募できるようにしてはどうか</p> <p>職員の職場異動の際、自己推薦制を認めたらどうか</p> <p>職員にF A（フリーエージェント）制を認めて他自治体で勉強する機会を与えたらどうか</p>		松本展国
13	<p>1 佐渡の子に豊かな感性、佐渡市民に優しい心を育むために</p> <p>(1) petting Z00（ふれあい動物園）の建設と動物霊園の併設を多発する少年犯罪の防止のためにも幼児期・学童期での動物とのふれあいが大変重要、そのための施設を</p> <p>ア 飼い主（人間として）の姿勢、責任として必要不可欠の施設である</p> <p>2 地名復活問題について</p> <p>(1) 地名復活作業はすぐ実行すべき</p> <p>地域審議会委員の選考基準は</p> <p>ア 各地区適任者か</p> <p>イ 羽茂は全会一致で地名復活決議をした。なぜすぐ実行しないのか</p> <p>3 産業再生に関して</p> <p>(1) 特区構想は</p> <p>離島特区勉強会の成果・結果は</p> <p>ア 市はどのような特区を検討中か</p> <p>(2) 観光について</p>	<p>市長 関係課長</p> <p>市長 関係課長</p> <p>市長 関係課長</p>	村川四郎

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
13	<p>行政（市長）は本気で「観光アクションプラン」を究極の計画と捉えるのか</p> <p>(3) 優良繁殖牛を佐渡市で確保すべき</p> <p>佐渡市の一次産業への取り組みが見られない。一日も早く畜産振興をスターとさせるべきであり今後の計画について問う</p>		村川四郎
14	<p>1 台風被害について</p> <p>(1) 台風被害後の市の取組みについて</p> <p>台風15・16号の水稲、漁業、林業及び観光被害額の実数を問う</p> <p>台風発生時から現在に至るまで、どのようなルートで、いつ現状を把握をし、対策を考え、実行したか。また被害者に対して佐渡市独自の救済策（特別融資制度）等の制定は</p> <p>観光立島を掲げている佐渡市であるが、観光施設への復旧の取組みについてを問う</p> <p>台風一過、大佐渡中心に回って来たが、特に漁港（船揚げ場）等中心に大量のゴミ、船の難破等があった。地域の清掃レベルを超えたゴミ処理について問う</p> <p>台風被害以後、中高年者の漁業や農作意欲の欠落で離職者が増えることが予想される。そのことにより佐渡市全体の商業の売り上げ減少が心配であるが、その把握状況を問う</p> <p>C A T Vのエリア拡大で市民に対し防災面において、かなりの情報発信が可能になったが、今回の台風に対し予防対策はどのようにされたかを問う</p> <p>2 地域の夏祭り、イベントについて</p> <p>(1) 行政が立ち上げた祭りやイベントの今後について</p> <p>佐渡市になって観光に対する期待も大なるものがある。そんな中で夏祭りやイベントは、各集落の神社を主体にしたような祭りと違い、行政の中に事務局を置いている祭り、イベントに佐渡市が支出している補助金、負担金、委託料の金額を問う</p> <p>佐渡市が誕生し、多くの住民は、まず佐渡市としての方向性を示し、各支所に指令するものと考えている。しかし、本年度は各支所から上がってきたものをまとめるだけであり、また、市長、議員が選出される前に本庁人事が決まっていたこともあり、すでに本年度のレールは決まってしまう中、議会質問は本庁の課長を対象に行われている。実際に企画したのが支所であり、答弁が本庁の課長では無理があるように思える。そこで来年度以降は、本庁主導のもと支所に指令を出すようにしなければならないと考えるが来年度予算編成に間に合うのかを問う</p> <p>(2) 「新作おけさ」について</p> <p>どのくらいの作品が集まったのか</p> <p>そのうち佐渡の人の応募はいくつか</p> <p>どのように、観光、商工に役立てるのか</p>	<p>市長 関係課長</p> <p>市長 関係課長</p>	廣瀬 擁

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
14	なぜ観光商工課で取組むことになったのか (3) 交流イベント支援事業の提案について 民間が立ち上げたもので、すでにかかなりの実績があり、島外交流も活発に実施、行政が支援することで、より効果的に島外交流が考えられるものについて		廣瀬 擁
15	1 国営・県営総合土地改良事業について (1) 変更計画と今後の事業推進について 事業総額及び地元負担額 農家周知と意思確認の時期 受益対象地域について ダム周辺整備事業について 2 市の農政対策について (1) 佐渡水田農業ビジョンについて 担い手育成について 産地づくり推進交付金の市単独助成について 担い手に対する傾斜配分について 3 台風被害対策について (1) 市の支援策について 農漁業被害への支援策について	市長  市長 関係課長  市長	小田 純一
16	1 登記事務について (1) 市(旧市町村)が取得した土地の未登記について 市町村合併時(H16.3.1)における未登記等の実態をどのように引継いでいるか。旧市町村別に、件数、筆数、人数等を示されたい 原因にはどのようなものがあったか 古いものは何年位前のものがあるか その間、固定資産税の課税関係はどうなっていたか 今後の解決策はどう考えているか 2 地域審議会について (1) 地域審議会の意義について 委員の権能と任務について 各地区の報告を受けての感想は (2) 地名・字名の取扱いについて ブランド、JAS法違反、日本穀物認証を失う等と言われるが真偽のほどは H14.7.30、第13回市町村合併検討協議会に提案事項として出されて以来、今日まで長い混乱を来しているが、この状態をどう受け止めているか 3 佐渡市テレビについて (1) 放映内容について 市民に喜ばれる放送はいつからか 現状での月1,500円の料金は高すぎる。一時徴収をストップしたらとの声があるが、どう受け止めるか	市長  市長  市長	肥田 利夫

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
17	1 台風15号被害について (1) 被害内容と今後の防災について 8月20日の台風15号の被災状況と今後の防災対策を明らかにされたい 市の災害対策本部の設置期日とその後の現場対応の状況を質す 被災者へ市として、どのような救援対策を考えているか明らかにされたい (2) 相川地区中心市街地の被災について 相川地区中心市街地での堤防からの海水越波による被災状況を質す 同上地区の今後の被災防止対策を示されたい 2 障害者通所授産施設について (1) 障害者通所授産施設の整備について 17年度相川地区に整備計画をもつ障害者通所授産施設は、関係市民が強く要望しているものであるが、その準備状況はどこまで進んでいるか 施設の具体的内容並びに施設の利用対象者数及びその利用者数をどのくらいとみているか 3 地域イントラネット事業について (1) 地域イントラネット整備について 市が整備しようとしている地域イントラネット事業の目的は何か、その事業効果をどのように考えているか 地域イントラネットの事業内容と、計画事業全体の費用はどのくらい掛かるかを明らかにされたい 4 南佐渡森林組合問題について (1) 緊急雇用対策事業委託金の不正受給事件について 南佐渡森林組合における緊急雇用対策事業委託金の不正受給事件の経過と佐渡市の責任を明らかにされたい 公金である緊急雇用対策事業委託金の3年間に亘る不正受給に対する南佐渡森林組合としての経営責任をどのように考えているか 5 佐渡ピエンナーレ近藤福雄賞写真コンテストについて (1) コンテストの審査について この写真コンテストは、佐渡の風物を愛した優れた写真家「近藤福雄」を顕彰するものであるが、その視点を欠く作品審査との疑問の声がある。審査団体はどこか、また、審査基準を明らかにされたい	市長  市長  市長  市長  市長	小杉 邦男
18	1 佐渡の農林水産行政について (1) 食糧法、米政策改革大綱・食料・農業・農村基本計画の変更に伴う佐渡農業の対応について 農業基本法制定以来、今回の法・制度改正においても国の農業	市長 関係課長	中村 剛一

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
18	<p>改革は規模拡大である。佐渡の規模拡大の現状と問題点はなにか。また規模拡大を行った農業者の経営状況はどうか</p> <p>国及び県は農地の流動化を図りながら担い手育成を進めている。今回の制度改正により担い手以外の農家は支援が受けられない可能性がある。佐渡市の担い手農家の状況と、育成する上で土地の集積をどうするか</p> <p>佐渡農業の規模拡大については労働雇用環境と関係がある。農地の流動化を促進するため新たな職場・雇用を作り出す必要があるが、地域の小規模な起業に対しての支援策はあるか</p> <p>W T O 農業交渉により、米の輸入関税は45%の削減を求められている。交渉の状況は予断を許さない状況である。佐渡において仮に低米価（15,000円程度）となった場合の経営が成り立つ耕作規模はどの程度が必要と考えるか</p> <p>計画流通制度が廃止され米の流通は原則自由となり、米の出荷は出荷登録制度から任意の出荷契約となる。規模拡大による組合員数の減少と合わせJAの経営にどのような影響があるかと考えるか</p> <p>(2) 佐渡農業の振興対策について</p> <p>佐渡農業で問題となるのが海上運賃である。本土との競争でハンディキャップとならないよう何らかの支援をする考えはないか</p> <p>米政策改革大綱による「稲作所得確保対策」は担い手を除いて平成20年で打ち切られるが、その後の米価下落に対する一般農家への支援策は考えているか</p>		中村 剛一
19	<p>1 台風による災害について</p> <p>(1) 農産物の被害について</p> <p>現時点で把握している被害の状況は 今後、被害の行方について（品質・収量）</p> <p>(2) 市（対策本部）として出来る支援策は</p> <p>天災融資法の適用について。激甚災害認定の可能性は農業共済に的確かつ迅速な対応をされるよう期待するが各種農業資金借入金返済猶予の実施について</p> <p>被害にあった圃場の小作料・加工米について行政としての対応は</p> <p>被災した果実の販売支援は その他、市として出来る支援はあるか</p> <p>(3) 災害によるごみ処理について</p> <p>被災者のごみの取り扱いについて 海岸に打ち上げられたごみの処理を考えているか</p> <p>(4) 現在の緊急通報体制と今後の計画について</p> <p>防災行政（危機管理体制）および防災無線の現状について 今後の計画は</p>	市長	羽入 高行

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
19	<p>C N S 放送の災害時の報道について</p> <p>2 循環型エコアイランドについて</p> <p>(1) 生ごみ処理について</p> <p>年間の一般廃棄物のうち、生ごみの割合と量は。また現在のリサイクル率は</p> <p>(2) 堆肥センターについて</p> <p>国は、循環型社会の構築に向け、「食品リサイクル法」を制定（平成12年5月施行）し、食品関連事業者に対して平成18年度までに20%以上の減量化・有効利用を義務付けています。市として堆肥センターの建設、及び民間への支援について</p> <p>(3) 不法投棄の状況は</p> <p>歴史文化史跡の観光の島、朱鷺のいる環境の島であるが、不法投棄（廃車含む）の現状と対策は</p> <p>(4) 地球温暖化対策の推進について</p> <p>環境配慮等の状況の公表について 実行計画の策定と実施について</p>	市長	羽入 高行
20	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 予算措置と予算執行に重大な欠陥が垣間見える</p> <p>合併推進協議会の押し付け予算で市長自身のオリジナリティーが見えない。常任委員会・特別委員会に丸投げ執行に見える。無駄な箱物が圧倒的で、合併の理念を分かっていない。財政健全化を目指すのか。財政破綻を覚悟の上で予算執行を行うのか。政治スタンスをハッキリすべきだ</p> <p>過疎・僻地に必要のない箱物を建てる以前に十分な生活道路の確保に気配りをすべきだ</p> <p>(2) 県道四十八ヶ所線（赤玉線）の再拡張に取り組むべきだ</p> <p>一般県道赤玉・両津港線（319号）</p> <p>未改良区の幅員は2.5m～5.5mの箇所が2km以上ある。片側は久知川で狭く危険極まりない状況である。この県道は地域民が拡張を「百年の河清を待つ」思いで期待している。重要な緊急避難道である</p>	市長 関係課長	大澤祐治郎
21	<p>1 観光関連行政について</p> <p>(1) 各地域の温泉実態について</p> <p>風評被害防止を含み、温泉の情報開示に取り組む考えは 環境省が募る活性化支援にモデル地域で応募する考えは</p> <p>(2) 景観を損なうなど、海岸の漂着ごみ対策について</p> <p>漂着ごみの国内外合わせた実態調査データを伺う 日本・中国・韓国・ロシアの4か国で検討会が開催される。県・国に実状報告はされているのか</p> <p>(3) ナラ類集団枯損対策について</p> <p>森林病虫害防除予算の取組みについて トキの野生化及び海の幸に影響しないか</p>	市長 関係課長	本間千佳子

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
21	<p>県・国に指導を受けているのか</p> <p>(4) 観光案内板の取組みについて 市街地にいつ設置されるのか トイレ、障害者用トイレの表示は確保されているか</p> <p>(5) 観光地意識の高揚について 住民に観光地意識をどのように指導しているか</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) インフルエンザ予防注射について 児童、学生、高齢者などの区分けによる利用状況を伺う 市単独で就学前児童に助成の考えは</p> <p>(2) 乳幼児医療費助成について 就学前児童に拡充の考えは</p> <p>(3) 出産育児一時金を退院時に医療機関に立て替える制度の導入について</p> <p>(4) 育児休暇の利用状況について 職員の利用率 民間企業の実態と指導状況</p> <p>(5) 子どもたちを守る街頭のセンサーライト設置の考えについて</p>	市長 関係課長	本間千佳子
22	<p>1 台風15号・16号について (1) 被災者への支援は</p> <p>2 農業委員について (1) 定員40人で対応できるのか</p> <p>3 市長の政治姿勢について (1) エコアイランド構想と構造改革特区、地域再生計画はどこまで進んでいるか (2) 社会教育について (3) 農業振興と特産作目について</p>	市長 農委局長 市長 教育長	川上 龍一
23	<p>1 災害対策について (1) 台風被災者の支援策について 融資制度について 市税（国保税含む）減免について 農地、農業用施設の復旧について</p> <p>2 新市建設計画について (1) 事業の見直しについて ランド・デザインについて 計画事業について 事業の取捨選択について</p> <p>3 ケーブルテレビについて (1) 佐渡テレビとの契約について 番組視聴料について インターネット用回線利用料について</p>	市長 市長 市長	金光英晴

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
24	<p>1 観光対策について (1) 観光地としての魅力づくりについて 滞在型・体験型観光を目指し、連泊者を増やすための具体的対策とは ホスピタリティマインド（接客）研修について</p> <p>(2) 情報の発信の一本化について 今年度中にも佐渡観光協会の一歩化を目指すと思うが、その後の動きは 佐渡観光協会の設置場所について</p> <p>(3) 佐渡汽船問題について（ダイヤ・運賃・サービス面など） 市として佐渡汽船という会社と今後どうかかわって島民の声を反映させていくのか 佐渡汽船との連絡協議会の発足について</p> <p>(4) 市長の施政方針「観光振興策」について 「旅館・ホテルと佐渡の食材を弾力的に利用できる地域のグルメレストランの育成と、その住みわけへの問題提起も行います」とあるが具体的には</p> <p>(5) フィルムコミッション事業について テレビドラマ、CM、映画などのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し宣伝するフィルムコミッション事業の活用について、今後、調査・研究すべきと思うが</p>	市長 関係課長	石塚 一雄
25	<p>1 遠隔辺地対策について (1) 前浜地域を中心に進む檜枯れ病（仮称）対策について (2) 前浜地区3小学校統合問題のその後の進捗状況について (3) 中央部と辺地における緊急情報、行政情報等の遅延是正策について</p> <p>2 トキ放鳥問題について (1) その後の住民説明会及び住民反応について (2) 県・国・民間団体との連携及び市の窓口体制について (3) 餌場用の中山間地棚田整備事業等の具体案について</p> <p>3 佐渡市の一般行政について (1) 清掃車、マイクロバス、スクールバス等の統一について (2) 市職員の研修について (3) 若者定住促進用の施設誘致及びイベントの開催について</p> <p>4 観光行政について (1) キャラクター、イメージソング等の作成予定はあるのか (2) 観光パンフレットの作成について (3) 国際観光化に向けた住民パワーの活用と意識改革について</p>	市長 関係課長 市長 関係課長 市長 関係課長	大石惣一郎
26	<p>1 福祉行政について (1) 介護保険制度見直しについて 「介護の社会化」をうたった介護保険制度がはじまって、4年が過ぎた。5年ごとに制度の見直しがあると聞かすが、現在、</p>	市長	金山 教 勇

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
26	<p>国ではどのような議論が進められているのか。その動きや状況と合わせ、どんなことが課題となっているのか</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 教科書採択について 佐渡全体における「教科書」の採択は、今までどのように行われ、これからどのように行われるのか、そのプロセス・手続き等について聞く</p> <p>3 産業廃棄物問題について</p> <p>(1) 佐和田地区の産業廃棄物中間処理施設の設置・操業をめぐる問題について 産業処理の問題は、自治体とりわけ離島佐渡にとって必要かつ重要なことであるが、この施設の設置にいたる経過について聞く 操業の開始予定はいつか 当該業者をふくめ関係住民に対する説明・話し合いについて、その時期や周知の方法等、十分であったのか 島外に搬出する廃棄物の受入先はどこか。またそのルートはどこになるのか 関係住民と当該業者との間で「公害防止協定」を結ぶことについて</p>	市長 教育長	金山教勇
27	<p>1 台風災害復旧及び民間への支援と防災システムについて</p> <p>(1) 被害状況 被害状況と復旧の目処 支援体制</p> <p>(2) 防災システムの現状 防災管理体制と課題</p> <p>2 17年度の予算編成の基本方針について</p> <p>(1) 基本的方針 予算編成の仕方 予算配分について 経済再生と新市建設計画の整合性について 指定管理者制度の導入について 高齢者施設対策について 学童保育について</p> <p>3 地域再生プロジェクト（特区）の進捗状況について</p> <p>(1) 進捗状況 (2) 方向性 (3) 事業化への時期</p> <p>4 不妊治療について</p>	市長  市長  市長	稲辺茂樹
28	<p>1 災害対策について</p> <p>(1) 台風15・16号の対応について 地域防災計画の作成はどのように行われ、地域住民への連絡徹底と防災マップはできているのか</p>	市長	祝 優雄

	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
28	<p>有線テレビ・防災無線など災害時の通報システムは有効に機能したのか</p> <p>2 国旗国歌法について</p> <p>(1) 現場での徹底について 市主催事業での国歌・国旗の扱い対応と徹底。学校での対応について</p> <p>3 行政改革&amp;機構改革について</p> <p>(1) 義務的経費と予算編成について 15年度の当初予算の中で、人件費を一般職と特別職に分けると幾らと幾らになるのか 15年度に比べ当初予算では、普通建設費が5.7%減額となっているが、何故「人件費」だけが増額となり、投資的経費が大幅な減額となったのか 17年度予算編成では「人件費比率」を見込みで何パーセントくらいと考えているのか。 15・16年度経常収支比率で見た「人件費比率」は何パーセントになるか 佐渡市として適正な職員定数と、人件費比率を何パーセント位と考えているか 現在、佐渡市の職員は市民何人に一人の割合になっているか、また、市民10,000人当たりの職員は何人になるか 経費削減の一策として、市長・助役・収入役・教育長・支所長・議長など公用車を廃止し、タクシーの活用を考えたかどうか 市民病院の改革運営と今後の見通しについて</p>	市長 教育長  市長	祝 優雄
29	<p>1 行財政運営について</p> <p>(1) 市財政は、合併前の計画を大きく下回り、大変厳しい状態にある。今後は大幅な行政経費及び事業の削減が必要と思うが。市長は、合併を成功裏に収めるためにどのような行財政運営を考えているのか 行政経費の削減 人件費・物件費・補助費・委託料（業務委託）等 事業の縮減 ア 本庁舎の早期建設により各支所から生じる遊休施設の活用 イ 保育所・小中学校の学区編成による事業の見直し ウ インフラネット整備等の検討</p> <p>2 台風被害対策について</p> <p>(1) 市の支援策について</p>	市長  市長	近藤和義
30	<p>1 小倉ダムの周辺整備について</p> <p>(1) 憩の場としての整備はどのようになるのか 国営・県営土地改良事業の小倉ダムが平成17年度試験貯水、18年度運用開始となるが周辺整備がどのようになるのか</p> <p>2 安心できる住民生活環境について</p>	市長  市長	本間勇作



	質 問 事 項	答 弁	質 問 者
30	(1) 農協Aコープ店小規模店舗切りはなしについて 佐渡農協松ヶ崎出張所Aコープ松ヶ崎店が平成17年2月末をもって業務委託をするが、廃止の方向が示され地域住民の不安が広がっている。市としても住民の意向にそった方向を佐渡農協に要請していただきたい		本間 勇 作
31	1 社会教育行政 (1) 市社会教育委員の現況と今後 新市の社会教育の方針は 市社会教育行政のなかで委員会と公民館の位置づけは 新市社会教育委員の役割と期待 (2) 市生涯学習推進計画の策定は 市の生涯学習推進に対する基本的考えを (3) 市図書館行政は 配置・運営組織はどうなるのか (4) 放送大学について 現況と今後について (5) 市青少年問題協議会の現況と今後 市の青少年育成に対する認識は 市の青少年問題に掛かる把握と現況 会の組織の今後について (6) 今後の社会教育行政の進め方は 常に社会教育委員の答申と審査助言のもと進めるべき 市の社会教育行政は制度があるからに見えるが	教育委員長 (教育長) (課長)  各支所長	金子克己